JVC

取扱説明書

ワイヤレスステレオヘッドセット

型名 HA-FBT80 HA-FBT60 HA-FBT30

HA-FBT80　HA-FBT60　HA-FBT30

Bluetooth®

＊お買い上げありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

LNT0158-001B

保証とアフターサービス

●保証書は必ずお受け取りください
この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について
保証期間はお買い上げ日より１年間です。保証書の規定に従って、お買い上げ販売店にて修理させていただきます。その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間について
当社は、このワイヤレスステレオヘッドセットの補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理を依頼されるときは
「故障かな?と思ったら」の各項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。それでも症状が改善されないときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。
・ワイヤレスステレオヘッドセット
・[HA-FBT80][HA-FBT60][HA-FBT30]
・お名前とおところ
・電話番号
・故障症状（詳しく）

なお、修理のご依頼の際は、必ず本システム全体（レシーバー・ヘッドホン・付属品）をご持参ください。

●アフターサービスについてご不明な点は
ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87
携帯電話・PHS・一部のIP電話・
FAXなどからのご利用は
電話　(045) 450-8950
FAX　(045) 450-2308
〒221-0022
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ホームページ http://www.jvckenwood.co.jp/
株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

●表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

危険

端子をショートさせない。また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物といっしょに携帯または保管しない

火の中に投入したり、加熱しない
高温での充電・使用・放置をしない
発熱や発火、破裂の原因になります。

危険（つづき）

高温（60℃以上）の場所に放置しない
発熱や発火、破裂の原因になります。

心臓にペースメーカーを装着している方は使用しない
ペースメーカーが、本システムの電波の影響を受ける恐れがあります。

病院などの医療機関、医療機器の近くでは本機を使用しない
電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。

航空機内で使用しない
電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。

分解、改造しない
故障、発熱、火災・感電の原因になります。

警告

USBケーブルは確実に差し込む
差し込みが不完全な場合は、発火や感電の原因になります。

ぬれた手で本体や、USBコードをさわらない
発火や、感電の原因になります。

水など、液体を入れたり、濡らしたりしない
発熱や発火の原因になります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
火災ややけど、けがの原因になります。

端子部に金属類を差し込まない
発熱や発火の原因になります。

運転中や歩行中は使用しない
次のような場合には絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。
—自転車やバイク、自動車などの運転中
—歩行中および踏切や横断歩道、駅のホームなどにいるとき

幼児、子供の手の届く場所に放置しない
誤ってヘッドホンコードを首に巻き付け、窒息を起こす原因となります。
誤ってイヤーピースを飲み込む恐れがあります。

主な仕様

●レシーバー部：HA-FBT1R
HA-FBT80 / HA-FBT60 / HA-FBT30 共通

項目	仕様
通信方式	*Bluetooth* 標準規格 Ver.3.0+EDR
最大通信距離	約 10 m※1
対応 *Bluetooth* プロファイル	A2DP/AVRCP/HFP/HSP
対応コーデック	SBC、AAC
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式
マルチペアリング	対応（最大 8 台まで登録可能）
マルチポイント	対応（音楽再生機器と通話機器 1 台ずつ同時接続可能）
電源	内蔵リチウムポリマー充電池
電池持続時間	約 10 時間※2
充電時間	約 3 時間
出力端子	φ 3.5 mm ステレオミニジャック
外形寸法	幅 2.2 cm ×高さ 6.1 cm ×厚さ 1.5 cm
質量	約 16 g（内蔵充電池含む）

※1 通信距離はあくまで目安です。
※2 使用条件により変わります。

●ヘッドホン部

	HA-FBT80	HA-FBT60	HA-FBT30
型式	ダイナミック型	ダイナミック型	ダイナミック型
出力音圧レベル	102 dB/1 mW	104 dB/1 mW	101 dB/1 mW
再生周波数帯域	8 Hz ～ 25,000 Hz	5 Hz ～ 25,000 Hz	8 Hz ～ 23,000 Hz
インピーダンス	20 Ω	16 Ω	16 Ω
最大許容入力	150 mW（IEC※）	200 mW（IEC※）	200 mW（IEC※）
コード	0.6 m（Y 型）OFC	0.6 m（Y 型）OFC	0.6 m（Y 型）OFC
入力プラグ	φ 3.5 mm 24 金メッキ ステレオミニプラグ	φ 3.5 mm 24 金メッキ ステレオミニプラグ	φ 3.5 mm 24 金メッキ ステレオミニプラグ
質量	8.5 g（コード含まず）	6.2 g（コード含まず）	3.2 g（コード含まず）

※IEC（国際電気標準会議）規格

Bluetooth プロファイルについて

・A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
高品質な音楽データを送受信するプロファイル
・AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
再生、停止などAV 機器を操作するプロファイル
・HSP(Headset Profile)
携帯電話の発着信・通話をするためのプロファイル
・HFP(Hands-Free Profile)
ハンズフリーで携帯電話の発着信・通話をするためのプロファイル

・本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

電波について

・本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
－分解/改造すること
－本機の証明表示（㊂）を改変すること

2.4 FH 1

2.4：2.4 GHz帯を使用する無線機器です。
FH：FH-SS変調方式を表します。
1：電波与干渉距離は10 mです。
▬▬▬：
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

本機の使用周波数帯（2.4 GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止（電波の発信を停止）してください。
・そのほか、「他の無線局」に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
・使用可能距離は見通し距離約10 mです。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんで本機とご使用の *Bluetooth* 機器を設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
・下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
－2.4 GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
－ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
・本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

Bluetooth について

Bluetooth は、デジタル機器同士で通信を行うための無線通信規格のひとつです。
Bluetooth には、通信の用途に応じて定められた「プロファイル」というプロトコル（通信手順）が規定されています。本機が対応している「プロファイル」については、主な仕様（☞ 左記）をご覧ください。

注意

湿気やほこりの少ない場所で使用・保管する
発熱や発火、感電の原因になります。

本機を使用するときは、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて使用すると、聴力に悪い影響を与えることがあります。
はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。

0℃～40℃以外の場所で使用しない
液漏れ・発熱・破裂する原因になります。

火のそばやストーブのそば、車内、お風呂場など高温、高湿になる場所で使用したり、放置しない
発熱や発火、破裂の原因になります。

物を載せたり、落下しやすいところに置かない
発熱や発火、感電、けがの原因になります。

USBケーブルが傷んだり、端子の差し込みがゆるいときは使用しない
発火や感電の原因となります。

ヘッドホンコードを本体に巻きつけたり、強く引っ張るなどの無理な力を加えたりしない
コードが断線し、音が聞こえなくなるなどの不具合が発生することがあります。

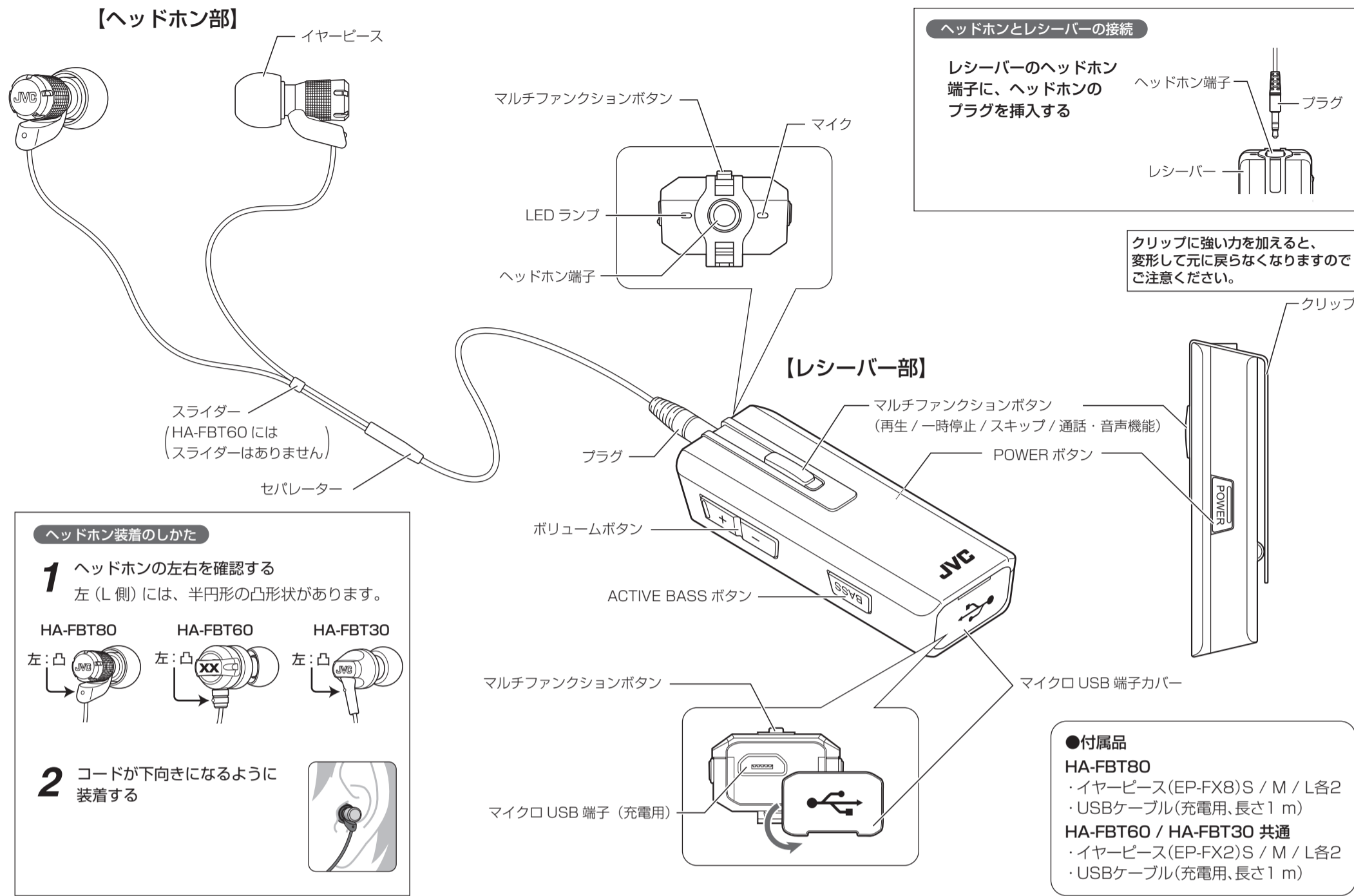
使用上のご注意

●金属部分が直接肌に触れますので、金属アレルギーの方やその恐れのある方は使用しないでください。また気温が低い冬場などは、装着時または使用中に冷たく感じる場合があります。
●イヤーピースが使用中に、はずれて耳の中に残ってしまった場合は、耳に損傷を与える可能性がありますので、自ら摘出は行わず、ただちに医師の診療を受けてください。
●イヤーピースが確実に取り付けられていないと使用中に、はずれて耳の中に残る場合があります。ご使用前には必ずイヤーピースが確実に取り付けられていることをご確認ください。
●ヘッドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止してください。使用を続けると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
●イヤーピースを誤って飲み込まないように、小児の手の届かないところに保管してください。
●冬場など乾燥した場所では、静電気により耳に刺激を感じることがあります。
●許容入力以上の音量を加えると、音が歪んだり、振動板を壊す場合がありますのでご注意ください。
●ヘッドホンのプラグを抜くときは、コードを引っ張らないで必ずプラグ部を持って抜いてください。
●高温多湿な場所での放置は、故障の原因になりますので避けてください。
●密閉型インナーイヤーヘッドホンは、歩行時などにコードのこすれ音や身体に伝わる音が聞こえる場合があります。
●本機の近くで携帯電話などをお使いの場合、ノイズが入ることがあります。
●イヤーピースに汚れが付くと音質に悪い影響を与えます。イヤーピースが汚れた場合は、本体からはずして薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は水分をふき取ってからご使用ください。
●イヤーピースは消耗品のため、通常の使用や保存の状態でも、経年変化で劣化します。劣化によりイヤーピースがはずれやすくなり、使用中に耳の中ではずれて残る場合があります。
●劣化が見られた場合は別売の交換用イヤーピースEP-FX8（HA-FBT80）またはEP-FX2（HA-FBT60/HA-FBT30）をお使いください。
●本機をモノラルヘッドホンに接続すると、L側(左)からしか音が聞こえません。
その場合は別売アダプターAP-112Aをお使いください。
●（HA-FBT80のみ）ドライバーユニット（トップマウント）は、構造上クリップなどの小さな金属や金属粉が付着する可能性がありますので、付着がないことを確認してから装着してください。

充電式電池のリサイクルについて

Li-ion 00

本機に内蔵されている充電池はリサイクルできます。
充電池の取りはずしはお客様自身では行わないでください。
本機を廃棄するときは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

各部の名称（イラストは HA-FBT80）

ヘッドホン装着のしかた

1 ヘッドホンの左右を確認する
左（L 側）には、半円形の凸形状があります。

HA-FBT80　HA-FBT60　HA-FBT30
左　左　左

2 コードが下向きになるように装着する

●付属品
HA-FBT80
・イヤーピース(EP-FX8)S / M / L各2
・USBケーブル(充電用、長さ1 m)
HA-FBT60 / HA-FBT30 共通
・イヤーピース(EP-FX2)S / M / L各2
・USBケーブル(充電用、長さ1 m)

充電のしかた

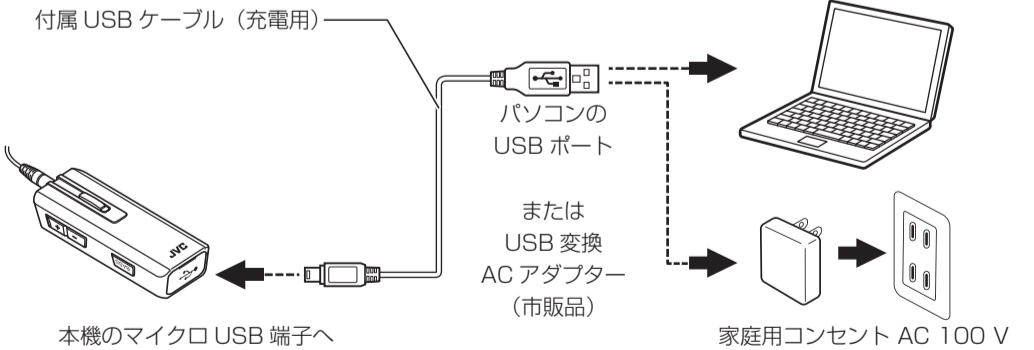
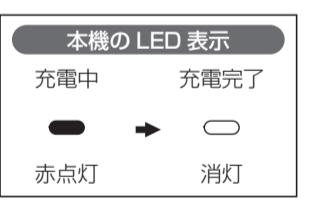
USB充電専用
本機の充電を行うには、USB端子付きパソコン、またはUSB変換ACアダプター(市販品)が必要です。ご使用の前に十分に充電をしておく必要があります。
充電には、付属のUSBケーブル(充電用)をご使用ください。

電池残量のお知らせ

電池残量がほとんどなくなると、本機のLEDランプが青点滅から赤点滅に変わります。

1 本機のマイクロUSB端子カバーをはずし、マイクロUSB端子に付属のUSBケーブル(充電用)を接続する

2 USBケーブル(充電用)をパソコンのUSBポート、またはUSB変換ACアダプター(市販品)に接続する
・LEDランプが赤色に点灯し、充電が始まります。
　充電が完了すると、LEDランプは消灯します。
・充電には約3時間かかります。
・充電中は、本機を操作できません。
・パソコンから充電する場合は、パソコン本体のUSBポートからの充電が途中で止まらないよう、パソコンの電源や設定をご確認ください。
・充電後は、すみやかに本機を取りはずしてください。

本機の LED 表示
充電中 → 充電完了
赤点灯　消灯

LEDランプについて

本機LEDランプの点滅・点灯表示で、動作の確認をすることができます。
(●: LED青色　●: LED赤色)

動作	LED 表示
機器接続待ち	●(赤)・・・・・・・・●(赤)・・・・・・・・●(赤)…… 点滅
ペアリング中	●(青)●(赤)●(青)●(赤)…… 交互に点滅
機器接続完了	●(青)・・・・・・・・●(青)・・・・・・・・●(青)…… 点滅
電池残量わずか	●(赤)・・・・・・・・・・・・・・●(赤)・・・・…… ゆっくり点滅
充電中	━━━━━━━━━━━━(赤)…… 点灯

ペアリングする

本機で音楽を聞いたり通話するには、事前にご使用の *Bluetooth* 機器とペアリングする必要があります。ペアリングの方法は、ご使用の機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

ペアリング済みの機器と接続するには「接続する」(☞ 4ページ)をご覧ください。

1 本機の電源が切れている状態で、POWERボタンを4秒間押しつづける
ヘッドホンから「ピポパポ」につづけて、「ピポ」と音が鳴り、LEDランプが赤青交互に点滅して、ペアリングを開始します。
(ペアリング可能な機器を最大5分間検索します)

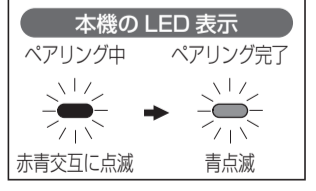
2 ご使用の機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする
(例)

Androidの場合
「**設定**」、「**無線とネットワーク**」の順にタップする
「**Bluetooth**」にチェックマークがついていない場合は、「**Bluetooth**」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
つづいて、「**Bluetooth設定**」、「**端末のスキャン**」(もしくは準じる項目)の順にタップする

iPhoneの場合　以下のいずれかの手順を参考にしてください。
「**設定**」、「**Bluetooth**」の順にタップする
または、
「**設定**」、「**一般**」、「**Bluetooth**」の順にタップする
上記のいずれの場合も、「**Bluetooth**」がオフになっている場合は、「オン」にする

3 ご使用の機器で「JVC HA-FBT1R」を選ぶ
本機とご使用の *Bluetooth* 機器が接続されます。
・ペアリング中に、相手機器からPINコードの入力を求められる場合があります。
　そのときは、本機のPINコード"0000"を入力してください。

4 本機のLEDランプが青くゆっくり点滅していることを確認する
ペアリングが完了しました。
・5分以内にペアリングしてください。5分以内にペアリングができなかったときは、検索が終了し、LEDランプは消灯します。

本機の LED 表示
ペアリング中 → ペアリング完了
赤青交互に点滅　青点滅

マルチペアリング

・本機は最大8台の *Bluetooth* 機器とのペアリング情報を登録できます。
　9台目の機器をペアリングした場合、もっとも古い機器のペアリング情報が新たな機器の情報で上書きされます。

接続する

1 本機の電源が切れている状態で、POWERボタンを2秒間押しつづける
電源が入り、ヘッドホンから「ピポパポ」と音が鳴り、LEDランプが赤く点灯したのち、青く点滅しつづけます。

・本機は前回接続した *Bluetooth* 機器に自動的に接続を試みます。ご使用の機器が操作できない場合は、手順2に進んでください。
・LEDランプが赤く点滅しつづけている場合は、ご使用の *Bluetooth* 機器と本機がペアリング、または接続できていません。
　ーペアリングしていない場合は、ペアリングする(☞ 3ページ)をご覧ください。
　ーペアリング済みの場合は、手順2に進んでください。

2 ご使用の機器の電源を入れ、接続できる状態にする
(例)

Androidの場合
「**設定**」、「**無線とネットワーク**」の順にタップする
「**Bluetooth**」にチェックマークがついていない場合は、「**Bluetooth**」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
つづいて、「**Bluetooth設定**」、「**端末のスキャン**」(もしくは準じる項目)の順にタップする

iPhoneの場合　以下のいずれかの手順を参考にしてください。
「**設定**」、「**Bluetooth**」の順にタップする または、
「**設定**」、「**一般**」、「**Bluetooth**」の順にタップする
上記のいずれの場合も、「**Bluetooth**」がオフになっている場合は、「オン」にする

3 ご使用の機器で「JVC HA-FBT1R」を選ぶ
本機とご使用の *Bluetooth* 機器が接続されます。

マルチポイント

・本機はマルチポイント対応です。
・*Bluetooth* 対応音楽再生機器(通話機能がない機器)で音楽を再生(A2DP/AVRCP)しながら、別の *Bluetooth* 対応通話機器で通話(HFP/HSP)ができます。

マルチポイントをご使用時のご注意
・あらかじめ、音楽再生機器および通話機器を本機とペアリングしてください。
・以下の手順にしたがって、音楽再生機器および通話機器と本機を接続してください。

1 *Bluetooth* 対応音楽再生機器の電源を入れて、本機と接続する
音楽再生機器が本機とA2DP/AVRCPで接続され、音楽再生が可能になります。

2 *Bluetooth* 対応通話機器の電源を入れて、本機と接続する
通話機器が本機とHFP/HSPで接続され、着信、通話が可能になります。
・着信時および通話中は、音楽再生が一時停止状態になります。
※先に、通話機器の電源を入れて本機と接続すると、通話機器側がA2DP/AVRCPで接続され、本機で音楽再生機器側の操作ができない、または音楽が聴こえない場合があります。
　この場合は、通話機器の電源を切り、上記の手順1から本機との接続をやり直してください。

音楽を聞く

本機で音楽を聞くには、事前にご使用の *Bluetooth* 機器とオーディオプロファイル(A2DP)でペアリング(☞ 3ページ)する必要があります。

1 本機の電源が切れている状態で、POWERボタンを2秒間押しつづける
電源が入り、ヘッドホンから「ピポパポ」と音が鳴ります。

本機は前回接続した *Bluetooth* 機器に自動的に接続を試みます。ご使用の機器が操作できない場合は、「接続する」(☞ 左記)をご覧ください。

2 マルチファンクションボタンを短く1回押す
音楽が再生されます。
・スマートフォンなどの場合、音楽再生プレーヤーを起動してから、本機を操作しないと動作しない機種もあります。
・本機の電源を入れ、*Bluetooth* 機器との接続中、または *Bluetooth* 機器の電源を入れてからの数秒間は、再生操作で音が途切れる場合があります。

3 ボリュームボタンを押す
・ボリュームボタンの + 側を短く押すと音量が大きく、− 側を短く押すと小さくなります。
　音量が最大または最小になると、ヘッドホンから「ピピ」と音が鳴ります。
・ご使用の *Bluetooth* 機器の音量もあわせて調節してください。

音楽再生の操作

動作	操作
再生または一時停止する	再生中にマルチファンクションボタンを短く1回押す。
次の曲にすすむ	マルチファンクションボタンをすばやく2回押す。
前の曲へもどる	マルチファンクションボタンをすばやく3回押す。

※機種によっては、操作できない機能があります。

低音を調整するには

動作	操作
ACTIVE BASSを入れる	ACTIVE BASSボタンを2秒間押しつづける。ヘッドホンから「ピー」と音が鳴ります(LEDランプが青く、2回ずつ点滅をくりかえします)
ACTIVE BASSを切る	ACTIVE BASSボタンを2秒間押しつづける。ヘッドホンから「パポ」と音が鳴ります(LEDランプが青く、1回点滅をくりかえします)

電源を切る

POWERボタンを2秒間押しつづける
ヘッドホンから「ピポパポ」と音が鳴り、LEDランプが青く点灯して電源が切れます。

※電源が切れない、またはハングアップなど動作が不安定な状態になった場合は、一度、本機を充電することでリセットが掛かり、本機が復帰します。

通話する

・本機で通話するには、事前にご使用の *Bluetooth* 機器とハンズフリープロファイル(HFP)でペアリング(☞ 3ページ)する必要があります。
・本機は前回接続した *Bluetooth* 機器に自動的に接続を試みます。ご使用の機器が操作できない場合は、「接続する」(☞ 上記)をご覧ください。

電話を受ける

ヘッドホンから着信音が聞こえたら、マルチファンクションボタンを短く1回押す
音楽を再生中に着信すると、音楽は自動的に停止します。
・ボリュームボタンで通話音量を調節することができます。
・スマートフォンなどの機種によっては、スマートフォン側の着信音を変更しても、本機固有の着信音しか鳴らないものがあります。

電話を切る

通話中にマルチファンクションボタンを短く1回押す
・音楽を再生中の場合、通話が終了すると、音楽再生が再開されます。

電話をかける

ご使用の *Bluetooth* 機器を操作して、電話をかけてください
・ご使用の *Bluetooth* 機器を操作して、本機での通話に切り換えてください。

イヤーピースについて（イラストは HA-FBT80）

・イヤーピースはお買い上げ時にはM(中)サイズが装着されていますが、耳穴にフィットしていない場合は低音が不足することがあります。
　より良い音質で楽しんでいただくとともに音漏れも低減させるために、S(小)／M(中)／L(大)から最適なイヤーピースを選び、耳穴にフィットさせてご使用ください。

イヤーピース交換時のご注意
・図に示すようにイヤーピースが確実に取り付けられているか、ご確認ください。
・イヤーピースが確実に取り付けられていない場合は使用中に、はずれて耳に残ることがあります。残った場合、耳に押し込まないよう十分注意してください。
・イヤーピース交換時は、イヤーピースを傷つけないようご注意ください。

すき間がないことをご確認ください。

イヤーピース取り付け時のご注意(HA-FBT80)
・HA-FBT80のヘッドホン部はトップマウント構造のため、イヤーピースの先端にある音穴を塞いだ状態で取り付けると、振動板に急激な空気圧がかかり故障の原因となります。
　イヤーピースを取り付ける際はイヤーピースの側面をつまんで取り付けてください。

イヤーピース　イヤーピース

故障かな？と思ったら

症状	対処
電源が入らない	充電をしてください。
ペアリングできない	本機とご使用の *Bluetooth* 機器を1 m以内に近づけて、再度ペアリングをしてください。
Bluetooth 機器を本機に接続後、すぐに動作しない	ご使用の *Bluetooth* 機器によっては、*Bluetooth* 機器を本機に接続してLEDランプが青くなっても、*Bluetooth* 機器の接続動作の時間差により、すぐに動作しない場合があります。
音楽が聴こえない	・ご使用の機器はA2DPのプロファイルに対応していますか。音楽データをストリーミングデータとして送信するためにはA2DPに対応している必要があります。ご使用の機器の説明書をご確認ください。 ・*Bluetooth* 機器で音楽を再生してください。
本機から *Bluetooth* 機器を操作できない	ご使用の機器はAVRCPのプロファイルに対応していますか。本機から *Bluetooth* 機器を操作するためにはAVRCPに対応している必要があります。ご使用の機器の説明書をご確認ください。
通話できない	・ペアリングが正常にできているか確認してください。 ・ご使用の機器はHFPのプロファイルに対応していますか。ご使用の機器の説明書をご確認ください。
音が出ない	・ペアリングが正常にできているか確認してください。 ・本機および*Bluetooth* 機器の音量を調節してください。
音が途切れる、または動作する反応が悪い	・スマートフォンなどで複数のアプリケーションが起動していませんか？ご使用にならないアプリケーションを終了してください。 ・本機の電源を入れ、*Bluetooth* 機器との接続中、または *Bluetooth* 機器の電源を入れてからの数秒間は、再生操作で音が途切れる場合があります。 ・電波を遮ってしまう物、壁、人体が本機と *Bluetooth* 機器の間にある場合、音が途切れたり、動作反応が悪くなることがあります。
音質に違和感がある、または音量が小さい	・ヘッドホンを両方の耳にきちんと入れてください。 ・イヤーピースのサイズを変更してください。
音がひずむ	・本機の音量を下げてください。 ・充電をしてください。
音が途切れる、ノイズ(雑音)が出る	・2.4 GHzの周波数を使用する機器(電子レンジ、無線LAN、コードレス電話など)を本機から離してください。 ・充電をしてください。
充電できない	・パソコンの電源が入っているか確認してください。 ・本機とパソコン、またはUSB変換ACアダプター(市販品)が付属USBケーブルでしっかり接続されているか確認してください。

対応機種
機種によっては操作できない機能があります。スマートフォンなどの対応機種については、当社のホームページをご確認ください。
http://www3.jvckenwood.com/accessory/support/